

製品名: CD36 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81376**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	53kDa

抗原情報

遺伝子名	CD36
別名	FAT; GP4; GP3B; GPIV; CHDS7; PASIV; SCARB3; BDPLT10
遺伝子 ID	948.0
SwissProt ID	P16671
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD36 (AA: 30-130) の精製された組み換え断片。

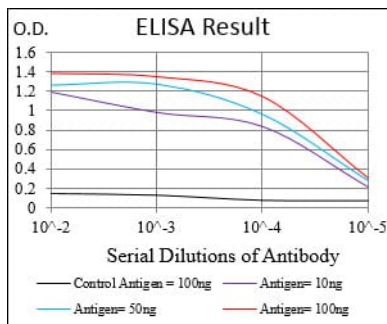
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、血小板表面の 4 番目の主要糖タンパク質であり、血小板および様々な細胞株においてトロンボスポンジンの受容体として機能します。トロンボスポンジンは様々な接着プロセスに関与する広く分布するタンパク質で

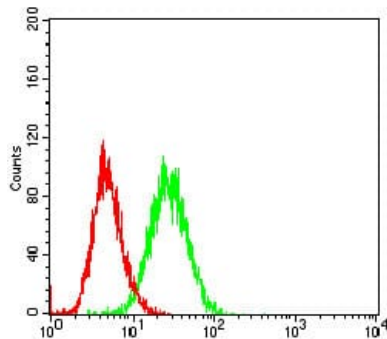
あるため、このタンパク質は細胞接着分子として重要な機能を持つ可能性があります。このタンパク質は、コラーゲン、トロンボスポンジン、陰イオン性リン脂質、および酸化 LDL に結合します。また、熱帯熱マラリア原虫 (*Plasmodium falciparum*) に寄生された赤血球の細胞接着を直接媒介し、長鎖脂肪酸に結合して、輸送および / または脂肪酸輸送の調節因子として機能する可能性があります。この遺伝子の変異は、血小板糖タンパク質欠乏症を引き起こします。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



CD36 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。